

CURIOUS MINDS

平成20年3月 第6号

発行：せんだい若者サポートステーション
〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目12-12
TEL: 022-246-9685 FAX: 022-246-9691
Mail: info@saposute.ne.jp
URL: http://www.saposute.ne.jp

* せんだい若者サポートステーションは、厚生労働省の「若者自立支援ネットワーク整備事業」です。

～ “curious minds” の願い ～

“curious” とは、「好奇心のある」の意味。せんだいサポステは、好奇心（＝楽しみを見出す力）をととても大切に考えています。せんだいサポステに集まる若者も、一人ひとりが素敵な好奇心の持ち主。その好奇心を輝かせ、自分の未来に向かって歩みだしていこう、という思いで、この“curious minds”という名をつけました。

出前相談会のお知らせ

せんだい若者サポステでは、この4月より、仙台市を除く4地域で、出前相談会を開催します。各地域に年6回（隔月）お邪魔し、午前中はセミナー、午後は個別相談を行います。「仙台は遠くて」とおっしゃる方も、是非お近くの会場へお気軽にお越しください。（参加費無料です）

～概要は以下の通りです（各会場共通）～

	午前の部 10:00～12:00	午後の部 13:00～16:00
内容	セミナー 「仕事に踏み出せない若者の心と親の想い」	個別相談会
対象者	どなたでも参加自由	仕事について考え始めた方（概ね15～35歳） 及びそのご家族の方
予約等	予約不要	要電話予約 022-246-9685までお電話でお申し込み下さい

※内容等は、変更になる場合もあります

仙南地域

白石市、角田市、七ヶ宿町、蔵王町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、丸森町

会場：大河原合同庁舎 201会議室

日にち：①4/8(火) ②6/10(火)
③8/12(火) ④10/14(火)
⑤12/9(火) ⑥H21年2/10(火)

仙台南部地域

名取市、岩沼市、亘理町、山元町

会場：仙台保健福祉事務所岩沼支所会議室

日にち：①4/22(火) ②6/24(火)
③8/26(火) ④10/28(火)
⑤12/15(月) ⑥H21年2/24(火)

仙台東部地域

塩釜市、多賀城市、利府町、七ヶ浜町、松島町

会場：仙台保健福祉事務所塩釜総合支所大会議室

日にち：①5/13(火) ②7/8(火)
③9/9(火) ④11/11(火)
⑤H21年1/13(火) ⑥3/10(火)

仙台北部地域

富谷町、大和町、大郷町、大衡村

会場：仙台保健福祉事務所黒川支所2階会議室

日にち：①5/20(火) ②7/15(火)
③9/16(火) ④11/18(火)
⑤H21年1/20(火) ⑥3/17(火)

ご不明な点は、せんだい若者サポートステーション（電話022-246-9685）まで、お問合せください

ご活用ください

この“curious minds”のバックナンバーが、せんだい若者サポートステーションのホームページからダウンロードできるようになりました。もちろん、最新号もその都度アップしていきます。是非とも、ホームページ版もご活用ください。

URL: http://www.saposute.ne.jp

このコーナーは、せんだい若者サポートステーションのメンバーに担当してもらっています。自分の“今”、そして“これから”を懸命に模索している若者の声をお届けします。今回は、これまでの総集編です。

こんにちは。春の匂いが感じられる今日この頃、いかがお過ごしでしょうか。わたし、“きょうちゃん”は、心穏やかに過ごしたいと願いつつ、一日一日を大切に生きております。さて、わたしは、せんだい若者サポートステーションの広報紙「CURIOUS MINDS」の第2号から、このコーナーを担当してまいりました。今回は、その総括として、思い出などを書かせていただこうと思います。

* 第2号 * 私たちの思い「新しい自分、ここから」

この号は、FREEDAYについて書きました。FREEDAYは、参加するみんなで意見を出し合い、案を練って実行に移すものです。わたし自身、FREEDAYでは、本当に沢山のことを学びました。自分の意見を発表すること、相手の意見を真剣に聞くこと、人と共同する喜び。そして、勇気(挑戦)+想像力(考えることを楽しむ)=好奇心ということ……。わたしは、FREEDAYはいったん卒業しますが、別な形でFREEDAYのようなものを企画したり、参加したりできれば良いなあと考えています。好奇心はいっぱいです。

* 第4号 * きょうちゃんのお仕事探検隊「アナウンサー・言の葉アーティスト: 渡辺祥子さん」

この号からは、少し趣向を変えて、色々な職業の方にわたしがインタビューをするというものになりました。実を言えば、初めは恐怖心がありました。相手の方に失礼がないようにインタビューするにはどうしたらいいのか、話すのが苦手な自分にこの企画は務まるか……など、やりもしないうちからびくびくしていました。ですが、実際にインタビューをして気づいたことは、一生懸命に相手と接すれば相手もそれに応えてくれる、ということです。わたしは、祥子さんの、「自分を否定しないでください。人は、誰かに、何かに必ず必要とされています」という言葉にすごく励まされました。その後、祥子さんが発信しているフリーペーパーにこのインタビューのことを取り上げていただき、嬉しく思いました。



きょうちゃんが毎回担当してくれているこのコーナー、来月号からも、またいろいろな職業の方に、いろいろなお話をお伺いします。楽しみにしていて下さいね。そして、インタビューにご協力いただける方、是非ともせんだいサポステまでご連絡下さい。お待ちしております。

* 第3号 * 私たちの思い「プレゼンとプレゼント」

この号は、12月17日に行われた、第2回サポステプレゼンテーションのことを主に書きました。サポステプレゼンテーションは、メンバーさんの1人が提案したもので、第1回、第2回ともに大成功を収めています。この企画を提案したメンバーさんの発想力と行動力はすごいなあと感じたこと、いまでも鮮明に思い出します。わたしは、どちらの回もプレゼンをする側として参加しました。あがり症もなんのその(なんて言ってますが、実は心臓はドキドキでした)、どうにか無事にプレゼンを終えることができ、失敗を恐れてはいけなかったことを学びました。

* 第5号 * きょうちゃんのお仕事探検隊「アロマセラピスト: 大澤史佳さん」

この号は、2回目のインタビュー。1回目に引き続き、緊張しましたが、気合いを入れて臨みました。1回目のインタビューの祥子さんと同じく、この号でお話を伺った史佳さんからも、素敵な言葉をいただきました。「どんな仕事に就いても、死ぬまで辛い訳ではないですよ。嫌なことの方が経験になるんですよ」と、「何かやらなきゃ、と思っている時の方が辛いんです」は、深く心に残りました。

このコーナーを読んでくださったみなさまは、それぞれの号でどんな感想をお持ちになられたでしょうか。わたしは、文章を通して人に何かを伝えることの難しさ、楽しさを実感しております。自分自身、このようなことが好きなんだなあ改めて気づきました。それに気づかせてくれたサポステのスタッフさんとの出会いに本当に感謝しています。

わたしは、立ち止まってはいません。亀の歩みよりも遅いかもかもしれませんが、一步一步前へ前へ進んでいます。誰がなんと言おうと、そう思っている次第です。だから、これからも着実に前へ進んでいけると強く感じています。これからも、ご期待ください。

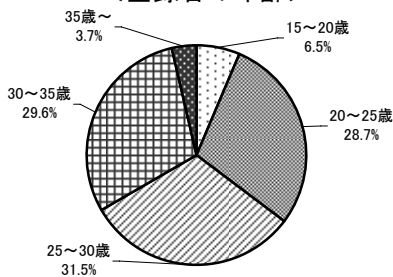
BY きょうちゃん

せんだいサポステDATA

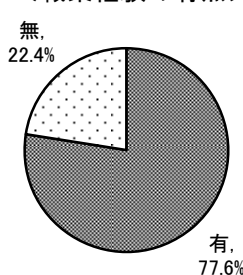
※平成20年3月19日現在

登録者数 118名 (男性92名 女性26名)

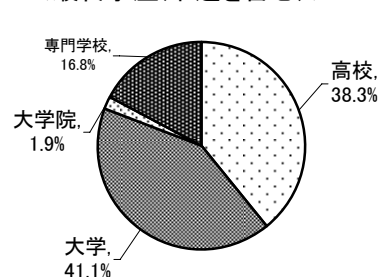
<登録者の年齢>



<職業経験の有無>



<最終学歴(中退を含む)>



来所者のべ数 1444名

相談件数 671件

イベント参加者のべ数 743名

進路決定者数 23名

(正規雇用6名 フルタイム非正規雇用16名 職業訓練1名)